



2018 湯前ぶどう祭り&焼酎蔵祭り(上米良秀^{ひでと}実行委員長)が8月18日に農村環境改善センターで開かれ、ブドウの直売やスイーツ、焼酎などをめあてにたくさんの人でにぎわっていました。

今回初めて焼酎を合わせた祭りとして開催し、JA球磨湯前ぶどう部会(大谷茂喜部会長=7戸)や豊永酒造、林酒造、くま川鉄道などが協力しました。

直売会では巨峰やピオーネ、ゴルビー、シャインマスカット、ニューベリーAなど黒・赤・白、7種類以上がずらり。開始前から買い求める人が殺到し、約1時間で500^{キログラム}が完売。「ブドウの重さ当てクイズ」では9種類30房ほどのブドウが用意されました。

ステージでは6種類の焼酎を飲んで当てる「利き酒大会」を開催し、焼酎好きの大人たちが参加。会場には2社の焼酎の試飲や販売、製菓店のタルト、大福、ドーナツ、ゼリー、ソフトクリームなどのスイーツやジュース、町内業者の生ビール、唐揚げ、焼きそば、カレーなどの絶品グルメがあり、にぎわっていました。



ぶどう祭り 焼酎蔵祭り



1「何グラムかな〜?」、友だちと笑顔で予測2実際にブドウを持ち上げる大人3直売会は開始約1時間で完売4利き酒大会で一つ一つの焼酎を吟味5ヨーヨー釣りを楽しむ親子6見事に重さを当てて、笑顔の子どもたち7多くの人でにぎわう会場8見た目で分からないように同じびんが並び



9「おいね」と試飲を楽しむ来場者10大きな声で重さ当ての当選者を発表する生産者112社の焼酎の試飲コーナー12製菓店のスイーツは舌を巻くおいしさ13利き酒大会中も、笑顔14浴衣姿で焼きそばを販売した青年団15太鼓の音を響かせ、会場を盛り上げた慈流会のエイサー

